埼玉県【賛助会員】

ウム・ヴェルト（株）

埼玉県加須市栄368-1
TEL 0280-23-2641　FAX 0280-62-5381
http://www.um-welt.co.jp/
yajima@um-welt.co.jp

取締役部長　矢島 孝昭

ウム・ヴェルトは、食品リサイクル事業、収集運搬業者として常に付加価値の高いリサイクル方法を考えております。食品残渣回収には専用車両を使用し365日少量回収も可能としました。またお客様の信頼に答える優良産廃処理業者認定の取得も積極的に行っております。

～食品リサイクル法の普及を推進します～

平成25年4月1日現在

食品リサイクルの推進と農業発展、自給率向上、地球温暖化防止を目指して

全国食品リサイクル登録再生利用事業者事務連絡会

地球温暖化防止活動と循環型社会への貢献、食の安全と自給率の向上

私たちは、食品循環資源の焼却からの脱却を目指し、堆肥化、飼料化、油脂化、メタン化（発電）など、バイオマス資源を有効に活用する民間食品リサイクル事業を行っています。

脱、安価市町村焼却（税投入等）

食の自給率向上

メタン発電

堆肥化・飼料化・油脂化

農業の発展

食品リサイクル推進・全国大会や施設見学会の開催

全国各地の先進的な地域の取り組みを取り上げ、食品リサイクルを推進していくための環境づくりや研修会等を企画し、全国大会や施設見学会を実施しています。

第4回施設見学会（愛媛県・松山市）ロイヤルアイゼングループが経営する焼肉三千里にて、食品リサイクル堆肥で作った、風早の玉ねぎやサンチュを食し、みんなで有機野菜のおいしさを分かち合った。

施設見学会では、地元テレビ局の取材が入りニュース報道された。また道後温泉で行われた研修会・パネルディスカッションでは、農水省・環境省・出先機関をはじめ、松山市環境部・㈱フジ生鮮事業部・松山市産業経済部農林水産課農業指導センター・地元農家の風早有機の里づくり推進協議会などが参加した。

全国の食品リサイクル登録再生利用事業者のネットワークの構築

私たちは、食品リサイクル法第11条に規定されている登録再生利用事業者です。信頼と安心のネットワークを構築するとともに、食品リサイクル現場の情報公開を進めていきます。

食品リサイクルマッチングサイト開設

今後、全国の食品リサイクル業者の会員データーベースをHP公開予定

環境展への出展（東京ビックサイト）やパンフレットの作成と配布

全国の食品リサイクル登録再生利用事業者の認知度アップを図るため、広報戦略にも力を入れます。

写真は出展ブースのイメージ

地域ブロック協議会パンフレットの作成

農水省、環境省と連携した通常総会、地域ブロック協議会の開催

食品リサイクル推進のため、国、都道府県、市町村、食品関連事業者、農林漁業者、消費者と連携を図りながら、様々な意見交換を積極的に実施していきます。

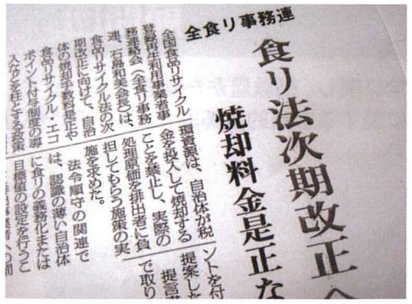
写真は第2回通常総会の様子、農水省、環境省担当者も交えて、食品リサイクルループと6次産業化についてパネルディスカッションを開催。今後、食品リサイクルネットワークの構築も推進。

写真は第1回地域ブロック協議会。今後は地域連携がテーマとなっている。

国への政策提言と意見交換会の開催

全国の会員アンケート調査結果からとりまとめ、平成23年7月に「食品リサイクル向上への施策」と題した政策提言を行いました。次期、食品リサイクル法や廃棄物処理法改正に向けた政策提言などを実施します。

農水省、環境省担当者も参加して行われた第11回常任理事会、挨拶する石島会長（食料・農業・農村政策審議会 食品産業部会 食品リサイクル小委員会 委員）



全食り事務連

食り法次期改正へ

焼却料金是正な

環境義は、自治体が税金を投入して焼却する

ことを禁止し、実際の

処理費用を排出者に負担してもらう施策の実

施を求めた。

法令順守の関連では、設備の薄い自治体に食りの義務化または

目標値の設定を行うこと

ポイント付与制度の導入などを柱とする提言

ソトを付

提案した

提言

で取り

市町村の焼却料金の是正など、政策提言は、朝日新聞、循環経済新聞などに大きく取り上げられました。